

第35回 東北作業療法学会 プログラム集

学会テーマ 作業療法の可能性



会 期：2025年7月12日(土)・13日(日)

会 場：やまぎん県民ホール (山形市双葉町1-2-38)

学会長：椿野 幸子 (山形市立病院済生館)



主 催：東北作業療法学会
担 当：山形県作業療法士会

第35回東北作業療法学会 プログラム集

目 次

開催概要	1
ご挨拶	2
開催プログラム	3
日程表	4
交通アクセス	8
会場案内	9
参加者の皆様へ	11
口述発表者の皆様へ	13
ポスター発表者の皆様へ	14
座長の皆様へ	16
プログラム	18
協賛一覧	33
学会組織	34

開 催 概 要

学 会 名	第35回東北作業療法学会
テ ー マ	作業療法の可能性
会 期	令和7年(2025年)7月12日(土)、13日(日)
会 場	やまぎん県民ホール(山形県山形市双葉町1-2-38)
学 会 長	椿野 幸子(山形市立病院済生館)
副 学 会 長	奥山 典子(山形さくら町病院)
実行委員長	佐藤 寿晃(山形県立保健医療大学)
主 催	東北作業療法学会
後 援	山形県、山形市、一般社団法人山形県医師会、一般社団法人山形県歯科医師会、一般社団法人山形県薬剤師会、公益社団法人山形県看護協会、公益社団法人山形県栄養士会、一般社団法人山形県歯科衛生士会、一般社団法人山形県理学療法士会、一般社団法人言語聴覚士会、一般社団法人山形県臨床工学技士会、一般社団法人介護支援専門員協会、一般社団法人山形県介護福祉士会、一般社団法人山形県社会福祉士会、山形県医療ソーシャルワーカー協会、山形県精神保健福祉士協会、山形県相談支援専門員協会、社会福祉法人山形県社会福祉協議会、社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会、一般社団法人山形県老人福祉施設協議会、山形県老人保健施設協会、一般社団法人山形県地域包括支援センター等協議会、山形県リハビリテーション研究会、公益社団法人認知症のひと家族の会山形県支部、公立大学法人山形県立保健医療大学、学校法人諏訪学園山形医療技術専門学校、一般財団法人山形コンベンションビューロー、山形県精神保健福祉会連合会、社会福祉法人山形県社会福祉事業団、山形県保育協議会、公益社団法人山形県私立幼稚園・認定こども園協会、山形県教育委員会、NHK山形放送局、山形新聞・山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、エフエム山形

学会事務局 事務局長 西堀 陽輔
Email : 35tohokuinfo@gmail.com
山形徳洲会病院 リハビリテーション科
〒990-0834 山形県山形市清住町2-3-51

ご 挨 拶



第35回東北作業療法学会

学会長 榎 野 幸 子（山形市立病院済生館）

厚生労働省による日本人の平均寿命（2023年簡易生命表）は女性87歳、男性81歳。医療技術の進歩や生活水準の向上により、男女ともに平均寿命は伸長傾向にあります。急速に高齢化が進む状況のなか、厚生労働省は2025年（令和7年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

日々の生活の中で活動と参加を継続すること、環境調整・自助具の活用等により安全で安心な生活を保つことにより、対象者の自立した生活を支援することは対象者の可能性を広げ、自分らしい暮らしを長く続けることにつながると考えます。

日常生活活動・心身機能及び能力の維持・向上へのアプローチ、環境調整により、“そのひとらしい生活”が継続できるよう支援する作業療法は、地域包括ケアシステムに尽力できる職種の一つになります。

これから、作業療法士の関わりは大きく広がる可能性をもっていると信じます。その可能性を広げるためには、医学的知識と技術の更新が必要不可欠であり、さらに対象者との関わり、多職種との協働の中でコミュニケーション力、プレゼンテーション力が重要と考えます。

本学会のテーマは「作業療法の可能性」としました。活動と参加・自助具の活用・最新の脳卒中治療・コミュニケーション・プレゼンテーション力の向上と、作業療法の可能性をさらに広げるために有益な講演を企画しております。

参加者の方々がさまざまな知見に触れ、作業療法について語り、未来に思いを馳せ、交流を深める機会にしたいと考えております。

やまぎん県民ホールにて2025年7月12日（土）・13日（日）に開催します第35回東北作業療法学会にご支援・ご協力の程、お願い申し上げます。



山形県作業療法士会

会 長 阿 部 恵 一 郎（介護老人保健施設 みゆきの丘）

東北作業療法学会の開催に際し、担当県士会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

各県が持ち回りで開催している東北作業療法学会は今回で第35回となります。コロナ禍で対面開催が困難となった中、オンライン形式、ハイブリッド形式など開催可能な形式で繋いでいただいた各県士会の皆さんのご尽力に、この場を借りて心より感謝申し上げます。

さて、6年前に山形県が担当した第29回東北作業療法学会では、2025年問題に備え「地域共生社会に向けて」をテーマに開催しました。今年はその2025年となり、この間、地域包括ケアシステムが深化し、地域共生社会への取り組みが推進されています。ただ、社会情勢に目を向けますと多発する自然災害、物価の高騰など日常生活に影響する課題、また2040年問題に向けて新たな取り組みが必要となっています。

本学会は、作業療法がそのような様々な課題に向けて何をすべきで、何ができるか、テーマである「作業療法の可能性」を探求できる、またのない機会になるものと思います。ぜひ足を運んでいただき、各県の皆さんと「作業療法の可能性」を考えさせていただけたらと思います。7月12日と13日、やまぎん県民ホールにて皆様とお会いできることを楽しみにしております。

開催プログラム

日 時：令和7年7月12日(土)・13日(日)

会 場：やまぎん県民ホール

<1日目>

9：45～	受付開始	
10：30～11：30	一般演題（B・C・D・G会場）	
12：00～12：30	開会式	
12：40～13：50	一般公開講座 A会場 音楽に合わせて体を動かし脳活性化?ニューロダンスを体験してみましょう！ 講師：橋本 弘子（森ノ宮医療大学）	
14：00～15：00	一般演題（B・C・D・G会場）	
15：10～16：10	特別講演1（A会場） 脳卒中治療の最近の進歩 講師：近藤 礼 （山形市立病院済生館 脳卒中センター）	教育講演1（B会場） 今日から役立つプレゼンテーション技法 講師：藤井 浩美 （山形県立保健医療大学）
16：20～17：50	シンポジウム（A会場） 作業療法の可能性（地域・司法・就労・eスポーツの立場から） シンポジスト 地 域：藤原瀬津雄（東八幡平病院） 司 法：渡邊 洋紀（宮城刑務所） 就 労：高橋 豊（認定NPO法人アイ・キャン） eスポーツ：若狭 利伸（eSocial Cue株式会社）	
18：15～20：30	懇親会	

<2日目>

9：00～10：00	情報交換会（A会場） 日本作業療法士協会 生涯学修制度 講師：早坂 友成 （一般社団法人日本作業療法士協会）	一般演題（B・D・E・G会場）
10：10～11：10	特別講演2（A会場） “独りでやりたいをかなえる”自助具の作製～3Dプリンターの活用～ 講師：川口 晋平 （田川新生病院）	教育講演2（B会場） 円滑な業務につながるコミュニケーション技法 講師：佐竹 真次 （山形県立保健医療大学）
11：30～12：30	特別講演3（A会場） 作業療法士によるロボット・AI・ICTの活用の可能性 講師：長谷川敬一 （竹田綜合病院）	一般演題（C・D・G会場）
12：40～13：10	閉会式	

学会日程表 7月12日(土)

会場 時間	A会場 大ホール	B会場 スタジオ1	C会場 スタジオ2	D会場 練習室1	E会場 練習室2
9:45	受付 9:45～ 大ホール前				
10:30 ～ 11:30		口述発表1 10:30～11:30 身体障害①	口述発表2 10:30～11:30 身体障害②	口述発表3 10:30～11:30 老年期障害・研究・教育	
12:00 ～ 12:30	開 会 式 12:00～12:30				
12:40 ～ 13:50	一般公開講座 12:40～13:50 講師：橋本 弘子 司会：椿野 幸子				
14:00 ～ 15:00		口述発表4 14:00～15:00 身体障害③	口述発表5 14:00～15:00 身体障害④	口述発表6 14:00～15:00 精神障害・発達障害	東北作業療法学会 評議員会
15:10 ～ 16:10	特別講演1 15:10～16:10 講師：近藤 礼 司会：佐藤千鶴子	教育講演1 15:10～16:10 講師：藤井 浩美 司会：阿部恵一郎			
16:20 ～ 17:50	シンポジウム 作業療法の可能性 16:20～17:50 藤原瀬津雄 渡邊 洋紀 高橋 豊 若狭 利伸 司会：椿野幸子				
18:15 ～ 20:30			懇 親 会 作業療法の可能性を 語る会 18:15～20:30		

学会日程表 7月12日(土)

F会場 練習室3	G会場 ホワイエ	H会場 共有スペース2F	I会場 共有スペース1F	イベント広場 ピロティ	会場 時間
					9:45
	ポスター1 10:30~11:30 身体障害①				10:30 } 11:30
					12:00 } 12:30
		機器展示	イベント		12:40 } 13:50
	ポスター2 14:00~15:00 高次脳機能障害・ 地域リハ			就労継続支援 B型事業所出店 11:30~16:20	14:00 } 15:00
					15:10 } 16:10
					16:20 } 17:50
					18:15 } 20:30

学会日程表 7月13日(日)

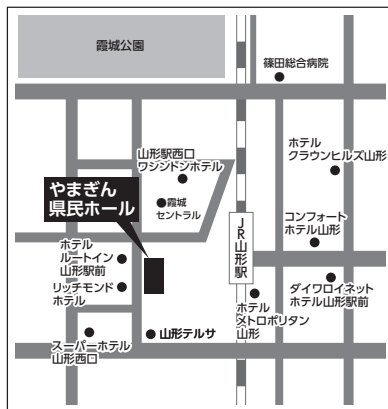
会場 時間	A会場 大ホール	B会場 スタジオ1	C会場 スタジオ2	D会場 練習室1	E会場 練習室2
8:30	開場・受付 8:30～ 大ホール前				
9:00 ～ 10:00	情報交換会 日本作業療法士協会 生涯学習制度 9:00～10:00 講師：早坂 友成 司会：佐藤 寿晃	口述発表7 9:00～10:00 身体障害⑤		口述発表8 9:00～10:00 地域リハ	口述発表9 9:00～10:00 MTDLP・管理運営他
10:10 ～ 11:10	特別講演2 10:10～11:10 講師：川口 晋平 司会：椿野 幸子	教育講演2 10:10～11:10 講師：佐竹 真次 司会：小川 友美			
11:30 ～ 12:30	特別講演3 11:30～12:30 講師：長谷川敬一 司会：奥山 典子		口述発表10 11:30～12:30 身体障害⑥	口述発表11 11:30～12:30 身体障害・高次脳機能障害	新人発表 11:30～12:30
12:40 ～ 13:10	閉会式 12:40～13:10				

学会日程表 7月13日(日)

F会場 練習室3	G会場 ホワイエ	H会場 共有スペース2F	I会場 共有スペース1F	イベント広場 ピロティ	会場 時間
					8:30
	ポスター3 9:00~10:00 身体障害・発達障害				9:00 } 10:00
中高生対象 作業療法 ミニレクチャー 10:00~12:00		機器展示	イベント	就労継続支援 B型事業所出店 9:00~12:30	10:10 } 11:10
	ポスター4 11:30~12:30 研究・教育他				11:30 } 12:30
					12:40 } 13:10

交通アクセス

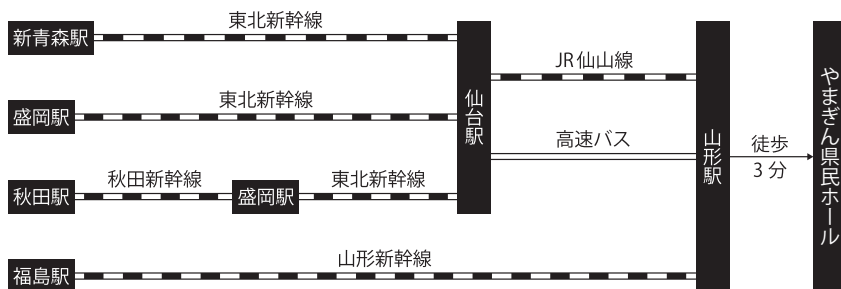
【会場および周辺図】



山形駅周辺駐車場



【鉄道アクセス】



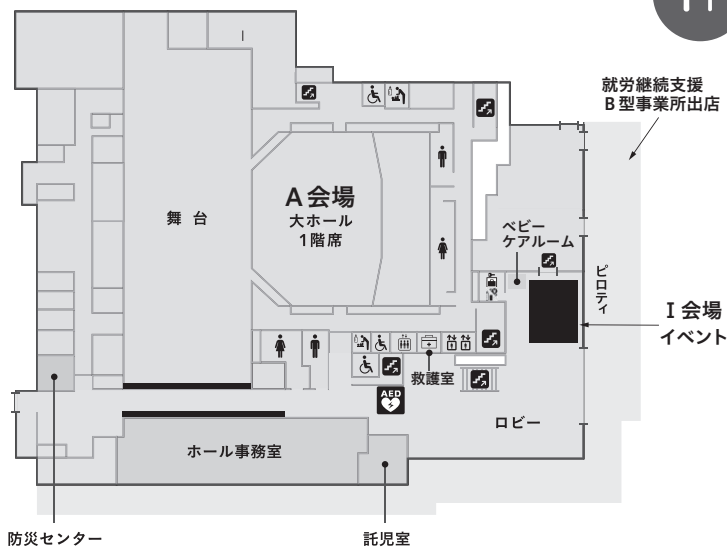
【道路アクセス】



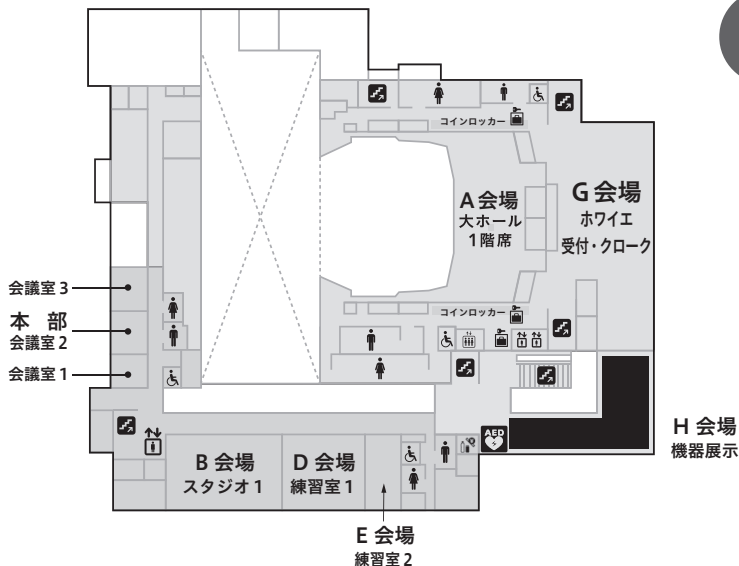
山形蔵王IC E4 経由	車 約20分	やまぎん県民ホール
山形北IC E4 経由	車 約30分	
山形中央IC E7、E13 経由	車 約15分	

会場案内

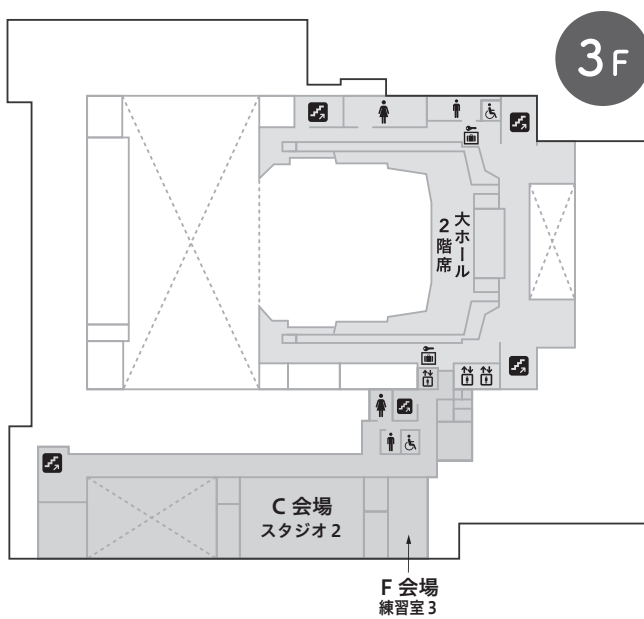
1F



2F



会 場 案 内



参加者の皆様へ

1. 参加手続き

◆参加費

	正会員	会員 A	非会員	他職種	学生
事前申込 (6月30日まで)	6,000円	8,000円	16,000円	7,000円	1,000円
当日 (7月1日以降)	10,000円	12,000円			

正会員：東北各県士会会員かつ日本作業療法協会会員

会員 A：東北各県士会に所属していない日本作業療法士協会会員

非会員：日本作業療法士協会非所属の作業療法士

他職種：作業療法士以外の職種の方

学生：生徒手帳のある生徒または学生証のある学生

※正会員・会員 A は日本作業療法士協会と各県士会会費納入の上、お申し込みください。

事後、会員の確認ができなかった場合、非会員の料金を請求致します。

※参加証は学会会場ならびに懇親会会場では必ずご着用ください。

◆事前参加登録について

学会ホームページの「参加登録」より、「オンライン事前参加登録はこちら」へお進みください。

事前登録および振込期限は2025年6月30日(月)までです。

事前参加申込は、6月30日(月)23時59分までとなります。それ以後は当日申し込みになります。

◆当日参加について

学生以外の当日参加はホームページからのカード決済のみです。

ご自身でホームページからお申し込みいただき、参加登録画面を受付で確認いたします。

事前にホームページから参加登録・支払いを済ませてから来場いただくとスムーズに当日受付ができます。

◆出張許可願について

HP内「参加者へのご案内」よりダウンロードしてください。

◆参加受付

日時	7月12日(土) 9:45~16:20 7月13日(日) 8:30~11:30
場所	やまぎん県民ホール 2F ホワイエ

◆懇親会（作業療法の可能性を語る会）

日時	7月12日(土) 18:15~
場所	C会場（スタジオ2）
参加費	6,000円

ホームページからお申込みください。※先着80名

2. 機器展示

日時	7月12日(土) 10:30~16:20 7月13日(日) 9:00~12:00
場所	やまぎん県民ホール 2F

3. クローク

クロークではスーツケースなどコインロッカーに入らないもののみお預かりいたします。
手荷物は会場のコインロッカー（コインリターン式）をご利用ください。

日 時	7月12日(土) 9:45～18:00 7月13日(日) 8:30～13:30
場 所	やまぎん県民ホール 2F ホワイエ

※傘、貴重品、パソコンなどはお預かりできません。

※7月12日(土)開催の懇親会に参加される方もクロークにお預けになったお荷物は17:50までにお引き取りください。

4. 会場内サービス

◆コインロッカー

会場1～3Fにコインロッカー（コインリターン式）がございます。
スーツケースなどコインロッカーに入らない荷物はクロークにお預けください。

◆託児室

利用される方ご自身での事前予約が必要です。
詳細はやまぎん県民ホールのホームページをご確認ください。
<https://yamagata-bunka.jp/facility/others.html>

◆飲食・喫煙

屋外の休憩スペースではご飲食いただけます。それ以外の会場内でのご飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
会場は建物内外を含めて敷地内全面禁煙です。

◆駐車場

近隣の有料駐車場をご利用ください。

5. 禁止事項

◆撮影・録音

各会場内でのカメラやビデオ、携帯電話での撮影・録音は禁止とさせていただきます。
なお、学会スタッフによる記録用の撮影を行う場合がございます。また、撮影した写真・映像は学会ホームページ等で公開することがございますので、あらかじめご了承ください。

◆携帯電話

講演会場内での携帯電話による通話は禁止とさせていただきます。
講演会場内では電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。

6. 会場内のお問い合わせ先

学会期間中のお問い合わせおよびご不明な点がございましたら、学会受付（やまぎん県民ホール2F ホワイエ）までお越しください。

口述発表者の皆様へ

1. 口述発表の準備について

- 1) 口述発表の使用機材はPCプロジェクターとし、OSはWindows10、office365の仕様になります。ファイル形式には十分にご注意ください。フォントはWindowsに標準装備のものをご使用ください。
- 2) Macで作成したスライドデータについては、事前にWindows版で動作をご確認ください。
- 3) 当日のトラブルを避けるため動画の使用はお控えください。
- 4) スライドデータには、下記の例のように「演題番号 氏名」というファイル名をお付けください。
演題番号はホームページのプログラムをご確認ください。
例) O1-5_東北太郎
- 5) スライドデータは、保存作業を行ったPC以外でも再生できることを事前にご確認ください。
- 6) スライドデータは、会場内のPCに一旦コピーさせていただきますが、学会終了後に責任を持って消去いたします。
- 7) スライドのデータは事前に35tohokuot.info+siryu@gmail.comまでお送り下さい。
期日は令和7年7月4日(金)と致します。

2. 口述発表の受付について

- 1) 学会参加受付後、発表セッション開始20分前までに演者受付までお越しください。
- 2) 当日、発表データの確認用のパソコンを用意致します。当日の修正はできません。ご了承ください。

3. 口述発表の方法について

- 1) 発表者は、発表セッション開始の10分前までに、発表会場内の次演者席にお越しください。
- 2) 発表時間は7分、質疑応答時間は3分です、発表終了1分前と終了時に合図いたします。時間厳守でお願いします。スライドデータの画面送りは発表者が演台上で操作するようお願いします。

4. 利益相反（COI）の開示について

第35回東北作業療法学会では、発表者に対して、演題発表時に発表演題に関連する企業等との利益相反（Conflicts of Interest：COI）の有無および状態について申告することを義務付けております、下記の例を参考にして、COIに関するスライドを演題名スライドの次（2枚目）にお入れください。

第35回東北作業療法学会 COI開示

筆頭発表者名：〇〇 〇〇

演題発表に関連し、開示すべき
COI関係にある企業等はありません

第35回東北作業療法学会 COI開示

筆頭発表者名：〇〇 〇〇

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業等として、

- | | |
|------------|------------------|
| ①顧問：なし | ⑥受託研究・共同研究費：〇〇製薬 |
| ②株保有・利益：なし | ⑦奨学寄附金：〇〇製薬 |
| ③特許使用料：なし | ⑧寄付講座所属：あり（〇〇製薬） |
| ④講演料：なし | ⑨贈答品などの報酬：なし |
| ⑤原稿料 | |

ポスター発表者の皆様へ

1. ポスター発表の準備について

- 1) ポスターフォームは下図を参照し、演題名・所属・氏名、本文をご作成ください。

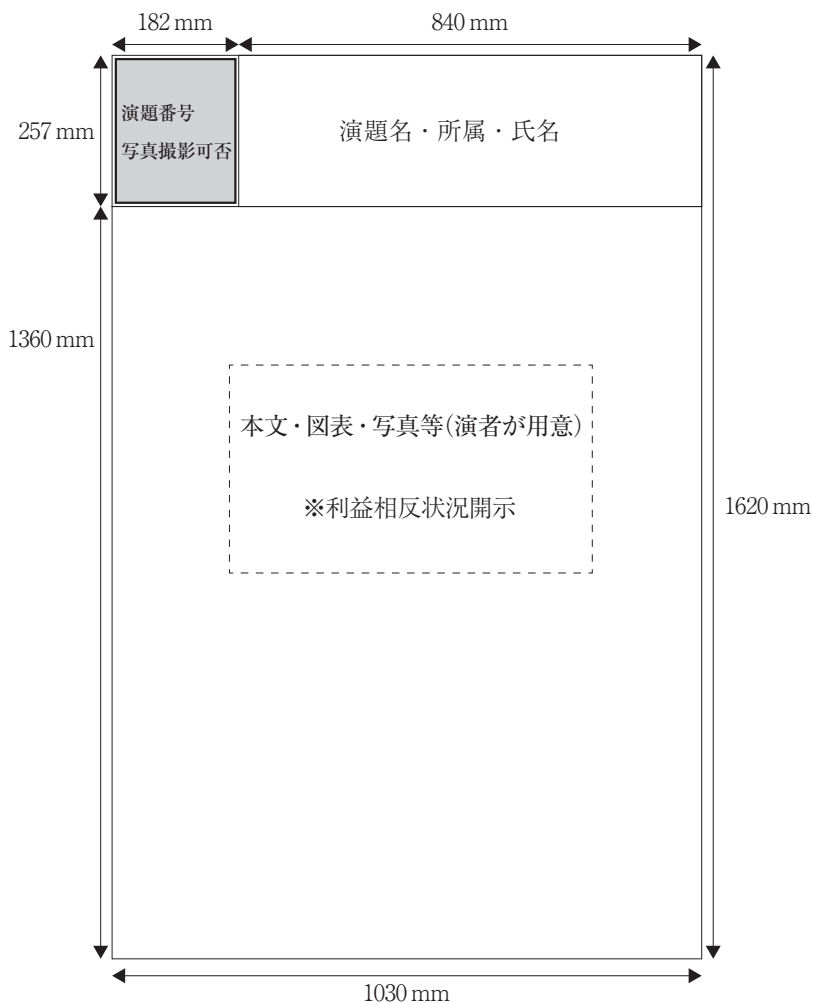
文字サイズ、フォントの種類、図表、写真等の枚数は特に定めませんが、必ず指定したサイズ内に収まるように作成してください。

ただし文字の大きさは、少なくとも3m離れた位置からでも明瞭に見えるようにご配慮ください。

- 2) ポスターは必ず指定したサイズに収まるようにご作成下さい。

- 3) 学会事務局では、掲示パネル左上部の演題番号、ポスターを貼り付けるためのピンを準備しております。

また、写真撮影可否の用紙を発表会場にて配布いたします。



2. ポスター発表の受付・掲示・撤去について

- 1) 学会参加受付後、演者受付にお越し頂き、下記の時間までにポスターの掲示をお願いいたします。

ポスター1 7月12日(土) 10:15

ポスター2 7月12日(土) 13:45

ポスター3 7月13日(日) 8:45

ポスター4 7月13日(日) 11:15

時間厳守をお願い致します。

ポスター3・4の方は、7月12日(土)の16:00~18:00の間にもポスター掲示可能です。

- 2) ポスターの撤去は、7月12日は16:00、7月13日は13:30までにお願いします。

撤去時間を過ぎても会場内にポスターが残っている場合は処分させていただきます。

3. ポスター発表の方法について

- 1) 発表者は、発表セッション開始の10分前までに、発表会場内のご自身のポスター前にお越しください。
- 2) 発表時間は5分、質疑応答時間は2分です。発表終了1分前と終了時に合図いたします、時間厳守でお願いします。
- 3) 指示棒を準備しますのでご利用ください。

4. 利益相反(COI)の開示について

第35回東北作業療法学会では、発表者に対して、演題発表時に発表演題に関連する企業等との利益相反(Conflicts of Interest: COI)の有無および状態について申告することを義務付けております。ポスター内にCOIに関する事をご記載ください。記載する内容は「口述発表者の皆様へ」のページの例を参考にさせていただきます。

座長の皆様へ

学会参加受付後、担当セッションの20分前までに座長受付を済ませて下さい。

なお、受付時間の後半は混み合うことが予測されます。余裕をもって受付をお願いいたします。

口述発表

担当セッションの開始10分前までに次座長席にお着きください。

1 演題につき発表7分質疑応答3分になります。

ポスター発表

担当セッションの開始10分前までに、担当ポスターの前にお越しください。

1 演題につき発表5分質疑応答2分になります。

発表時間、質疑応答時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

プログラム



一般公開講座

会場：A会場（大ホール）

日時：2025年7月12日（土）12：40～13：50

司会：椿野 幸子（山形市立病院済生館）

音楽に合わせて体を動かし脳活性化!?ニューロダンスを体験してみましょう！

はじめての方も大丈夫。体が踊ると脳と心が躍ります！

講師：橋本 弘子（森ノ宮医療大学）

特別講演

特別講演 1

会場：A会場（大ホール）

日時：2025年7月12日（土）15：10～16：10

司会：佐藤千鶴子（日本海酒田リハビリテーション病院）

脳卒中治療の最近の進歩

講師：近藤 礼（山形市立病院済生館 脳卒中センター）

特別講演 2

会場：A会場（大ホール）

日時：2025年7月13日（日）10：10～11：10

司会：椿野 幸子（山形市立病院済生館）

“独りでやりたいをかなえる”自助具の作製 ～3Dプリンターの活用～

講師：川口 晋平（田川新生病院）

特別講演 3

会場：A会場（大ホール）

日時：2025年7月13日（日）11：30～12：30

司会：奥山 典子（山形さくら町病院）

作業療法士によるロボット・AI・ICTの活用の可能性

講師：長谷川敬一（竹田綜合病院）

教育講演

教育講演 1

会場：B会場（スタジオ1）

日時：2025年7月12日（土）15：10～16：10

司会：阿部恵一郎（介護老人保健施設 みゆきの丘）

今日から役立つプレゼンテーション技法

講師：藤井 浩美（山形県立保健医療大学）

教育講演 2

会場：B会場（スタジオ1）

日時：2025年7月13日（日）10：10～11：10

司会：小川 友美（アーチ）

円滑な業務につながるコミュニケーション技法

講師：佐竹 真次（山形県立保健医療大学）

シンポジウム

会場：A会場（大ホール）

日時：2025年7月12日（土）16：20～17：50

司会：椿野 幸子（山形市立病院済生館）

作業療法の可能性（地域・司法・就労・eスポーツの立場から）

シンポジスト

地 域：藤原瀬津雄（東八幡平病院）

司 法：渡邊 洋紀（宮城刑務所）

就 労：高橋 豊（認定NPO法人アイ・キャン）

eスポーツ：若狭 利伸（eSocial Cue株式会社）

情報交換会

会場：A会場（大ホール）

日時：2025年7月13日（日）9：00～10：00

司会：佐藤 寿晃（山形県立保健医療大学）

日本作業療法士協会 生涯学修制度

講師：早坂 友成（一般社団法人日本作業療法士協会）

一般演題口述

口述1 身体障害①

日時：2025年7月12日(土)10:30～11:30

会場：B会場（スタジオ1）

座長：鈴木樹美枝（公立置賜長井病院）

O1-1 右片麻痺を呈した回復期脳梗塞患者に対しTransfer Packageを活用し、調理動作を獲得した一例
佐藤 孝奎（済生会 山形済生病院）

O1-2 痙性抑制を目的とした手関節装具が立位バランスに与える影響
～重度上肢麻痺患者における1症例での検討～
長岡 祐（医療法人篠田好生会 篠田総合病院）

O1-3 生活内での麻痺手の不使用を認めた事例に対するCO-OPを用いた実践
秋山 大輔（公立高島病院）

O1-4 COPMを使用したことで具体的な目標を共有し、独居再開に至った症例
～麻痺側上肢の使用を目指して～
佐藤 隼人（日本海酒田リハビリテーション病院）

O1-5 食事の支度の再獲得に関わった症例 ～立位バランスの安定性向上を目指して～
松浦 瑞季（日本海酒田リハビリテーション病院）

O1-6 装具療法とボツリヌス治療により痙縮改善を図った症例
～疼痛緩和や自己管理能力の向上を目指して～
本間 結子（鶴岡協立リハビリテーション病院）

口述2 身体障害②

日時：2025年7月12日(土)10:30～11:30

会場：C会場（スタジオ2）

座長：高橋 大輝（あづま脳神経外科病院）

O2-1 橈骨遠位端骨折術後患者に対しADOC-DRFを用いた一例
高木 峻平（山形市立病院済生館）

O2-2 橈骨遠位端骨折術後患者における不安軽減と主婦業復帰・家庭内役割再獲得への支援
森 明日香（山形大学医学部附属病院）

O2-3 MP関節伸展拘縮を呈した患者に対する作業療法の経験
平井 杏実（済生会 山形済生病院）

O2-4 小指PIP関節の重度屈曲拘縮を伴うDupuytren拘縮症例に対する作業療法の経験
渡部 開斗（済生会 山形済生病院）

O2-5 箸操作獲得を目指した症例
小池香珠実（社会医療法人みゆき会病院）

O2-6 脊髄損傷（頸髄）の事例に合わせた自助具を使用する事で髭剃りまで可能となった事例
中野 祐嗣（一般財団法人南東北福島病院）

□述 3 老年期障害・研究・教育

日時：2025年7月12日(土)10:30~11:30

会場：D会場（練習室1）

座長：久米 裕（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座）

○3-1 高齢で日中独居の中、自宅での排泄動作自立に至った症例

鈴木百合子（特別養護老人ホームあづま）

○3-2 重度障害を呈した長期臥床者の端坐位（背面開放座位）訓練の効果について

三浦 英夫（鶴岡協立リハビリテーション病院）

○3-3 介護老人保健施設から退所前訪問指導を通して自宅復帰へ繋がられた事例

長谷川拓也（一般財団法人温知会 介護老人保健施設悠悠）

○3-4 養成校における介護予防事業に関する実践報告

～企画段階からサロン発足までの教員と学生の関わり～

藤井 貴（東北保健医療専門学校）

○3-5 脳血管障害者に関する運転再開にあたってのMOCA-Jとの関連

齋藤 邦（鶴岡協立リハビリテーション病院）

○3-6 手根伸筋に対する反復末梢磁気刺激は手根伸筋への脊髄相反性抑制を減弱する

宮崎 大（山形県立保健医療大学大学院）

□述 4 身体障害③

日時：2025年7月12日(土)14:00~15:00

会場：B会場（スタジオ1）

座長：道又 顕（広南病院）

○4-1 明確な目標設定により退院後早期に復職した広範囲熱傷の1例

加賀美 開（秋田大学医学部附属病院）

○4-2 広範な化膿性腱鞘炎を呈した症例に対して多様なスプリント療法併用が有効であった症例

柴田 秀衡（市立横手病院）

○4-3 手指伸筋腱皮下断裂腱移行術後における減張テーピングとRelative motion splintの段階的使用

鳴海 直希（弘前記念病院）

○4-4 重度関節拘縮を呈したギラン・バレー症候群患者の食事動作獲得に向けた介入

工藤 七瀬（御野場病院）

○4-5 適切なりハビリテーション治療をおこなうために、遊びを取り入れた一例

小原 直之（岩手医科大学附属病院）

口述5 身体障害④

日時：2025年7月12日(土)14:00～15:00

会場：C会場（スタジオ2）

座長：福田舞耶子（盛岡市立病院）

- O5-1 両眼性複視に対する作業療法介入を実践した橋梗塞の1例**
安室 遼之（石巻ロイヤル病院）
- O5-2 左半側空間無視に対する「気づき」を促すことで自己認識向上につながった介入**
山岡 将（秋田県立循環器脳脊髄センター）
- O5-3 脳卒中片麻痺患者の四肢機能障害に対する「手のリハチーム」の取り組み報告 ー第1報ー**
大橋 拓朗（あづま脳神経外科病院）
- O5-4 CI療法による麻痺手使用の促進因子に関する予備的検討
ー麻痺手使用の自己観察への取り組み方に着目したケースシリーズ研究ー**
齋藤 晃（一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）
- O5-5 車椅子のタイヤ空気圧の非対称調整が直進走行効率にあたる影響
ー模擬片麻痺患者を想定したパイロットスタディー**
四家 志帆（いわき市医療センター）
- O5-6 脳卒中患者のトイレ動作自立は意欲とエネルギー摂取量の相乗効果により促進される**
藤田 貴昭（福島県立医科大学）

口述6 精神障害・発達障害

日時：2025年7月12日(土)14:00～15:00

会場：D会場（練習室1）

座長：小山内 啓（一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院）

- O6-1 精神科デイケア通所中の被害的思考を有する統合失調症患者への就労支援
ー就労継続支援A型の通所に向けて対処行動の獲得を図った事例ー**
鬼柳 貴至（岩手県立南光病院）
- O6-2 精神科急性期病棟におけるメタ認知トレーニングの実践**
梅津 雄志（東北福祉大学）
- O6-3 公共交通機関利用が億劫になった患者に対する個別の関わり～SSTを用いての自信の取り戻し～**
長沼 菜摘（医療法人風心堂 小原病院）
- O6-4 協力型デジタルゲームを活用した作業療法介入が社会的交流、心理的状态に与える影響
ーモンスターハンターライズを用いたケーススタディー**
伊東 和哉（福島医療生協わたり病院）
- O6-5 児童発達支援にて作業機能障害に着目し多職種で支援した事例**
大山 華穂（合同会社リハサポート アーチ天童）
- O6-6 早産児におけるGMOS-Rと乳幼児期の発達指数との関連性の検討**
渋谷 勇人（済生会 山形済生病院）

□述7 身体障害⑤

日時：2025年7月13日(日)9：00～10：00

会場：B会場（スタジオ1）

座長：菊地 翼（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座）

O7-1 くも膜下出血後に重症肺炎を合併し廃用性筋萎縮を呈した症例に対する回復期リハビリテーションの一例

鈴木 日向（済生会 山形済生病院）

O7-2 人間作業モデルスクリーニングツールを用いた目標設定に基づく介入により抑うつ症状が軽減した急性期被殻出血の1事例

菊地 航平（八戸市立市民病院）

O7-3 失敗体験による精神的疲労が食事作業に影響した1事例 ～食事の自立に至るまで～

長岡 秀法（医療法人篠田好生会 篠田総合病院）

O7-4 膠芽腫の進行により右麻痺が増悪していく症例の自宅退院を目指して ～不安軽減に着目して～

黒田 朱里（山形大学医学部附属病院）

O7-5 呼吸器疾患患者の日常生活動作における呼吸困難の変化 ～長期的な外来呼吸作業療法の影響～

三保 歩夢（市立秋田総合病院）

O7-6 複数の合併症による長期入院中に病態に応じたりハビリテーションが有効であった微小変化型ネフローズ症候群の一例

飯島 美月（山形市立病院済生館）

□述8 地域リハ

日時：2025年7月13日(日)9：00～10：00

会場：D会場（練習室1）

座長：西城 学（岩手リハビリテーション学院 作業療学科）

O8-1 通所リハビリテーションにてトライ&エラーが効果的に作用し就労に至った症例

能登 薫（川久保病院 通所リハビリテーション）

O8-2 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスCへの作業療法士の関わり

寒河江春樹（新庄徳州会病院）

O8-3 高齢者の通いの場での「元気度チェック」 ～市町村事業の効果と今後の課題～

佐藤 健一（一般社団法人リハビリテーションスタッフサービス）

O8-4 市町村の保健事業における作業療法士のアプローチと今後の課題

高橋 友美（一般社団法人リハビリテーションスタッフサービス）

O8-5 認知症予防事業の長期的影響に関するケーススタディ

久米 裕（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座）

O8-6 軽度認知機能障害を有する地域在住高齢者の自動車運転の特徴について

小玉 鮎人（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座）

口述9 MTDLP・管理運営他

日時：2025年7月13日(日)9:00～10:00

会場：E会場（練習室2）

座長：外川 佑（山形県立保健医療大学）

O9-1 頸椎損傷患者に対してMTDLPとKTバランスチャートを用いて多職種連携を促進した事例 ～曾孫とご飯を食べるために～

浅井 拓生（いわき市医療センター）

O9-2 心大血管作業療法算定に向けた当院取り組みと今後の課題

川野辺 穰（秋田県立循環器・脳脊髄センター）

O9-3 福島県士会教育部主催の研修会開催方式のアンケート調査 ～対面研修とWeb研修の比較～

上田 有美（一般財団法人総合南東北病院）

O9-4 令和6年7月山形県北部豪雨災害における酒田・遊佐地域でのやまがたJRAT支援報告

辺見 大剛（山形大学医学部附属病院）

O9-5 全日本ブロック選抜車いすバスケットボール大会における東北選抜チームスタッフ帯同報告

小田桐紅葉（弘前大学医学部附属病院）

O9-6 コロナ禍で延期していた認知症カフェ再開に向けた取り組み

ー福島県作業療法士会 会津支部 活動報告ー

佐藤 志保（福島県立医科大学 会津医療センター）

口述10 身体障害⑥

日時：2025年7月13日(日)11:30～12:30

会場：C会場（スタジオ2）

座長：今井 寛人（一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）

O10-1 脳血管障害により体動困難となった高度肥満患者の一事例

～集中治療室における作業療法の有用性に着目して～

太田 龍成（医療法人雄心会 青森新都市病院）

O10-2 重度意識障害患者に対して座位離床、温浴刺激が意識レベル改善に至った一例

仁杉恵美子（岩手県立中央病院）

O10-3 排尿障害を有する急性期脳卒中患者に対し反復末梢磁気刺激を用いた症例

岡崎 智史（山形市立病院済生館）

O10-4 両側性皮質下出血を同時に発症し機能改善によって基本動作獲得まで至った症例

～右補足運動野・左中心前回損傷に対する急性期作業療法の方針と考察～

立石 悠貴（医療法人雄心会 青森新都市病院）

O10-5 拡散型圧力波治療（RPW）により上肢痛が改善し行動変容に繋がった症例

藤田 晃大（医療法人雄心会 青森新都市病院）

O10-6 右片麻痺を呈した急性期脳梗塞高齢者に対して物理療法を併用し上肢機能の改善を目指した症例

後藤 彩花（済生会 山形済生病院）

口述11 身体障害・高次脳機能障害

日時：2025年7月13日(日)11:30～12:30

会場：D会場（練習室1）

座長：富村 香里（湯田川温泉リハビリテーション病院）

O11-1 若年脳卒中患者に対するロボティクスデバイスを使用したリハビリテーション介入報告

宮川 苑子（医療法人友愛会 盛岡友愛病院）

O11-2 若年重症脳卒中患者の社会復帰に向けたリハビリテーション介入報告

牛抱 凌（医療法人友愛会 盛岡友愛病院）

O11-3 失語症と空間認識能力低下により、スマートフォン操作能力が低下した症例

～仕事と友人との交流再獲得を目指して～

櫻庭 希（一般財団法人みちのく愛隣協会 東八幡平病院）

O11-4 アテローム血栓性脳梗塞により高次脳機能障害を呈した症例 ～注意機能改善を目指して～

高橋 典寛（三友堂病院）

O11-5 前頭葉機能障害を呈した脳卒中患者への課題指向的な介入により中期目標とした外泊が達成された事例

内山 然（社会医療法人明和会 中通リハビリテーション病院）

一般演題ポスター

ポスター1 身体障害

日時：2025年7月12日(土)10:30～11:30

会場：G会場（ホワイエ）

座長：塚田 徹（竹田綜合病院）

- P1-1 排泄動作に着目したことで活動意欲が向上し生活リズム改善に至った事例**
後藤 遥奈（医療法人財団明理会 山形ロイヤル病院）
- P1-2 脳卒中急性期よりTransfer packageを使用し調理動作の獲得に至った症例**
荒谷 里美（広南病院）
- P1-3 不使用である麻痺手の参加を食事動作から促した事例**
小梁川佑李（公立置賜南陽病院）
- P1-4 中大脳梗塞者の排泄自立と発症初期の日常生活活動能力との関連**
鈴木 由美（山形県立保健医療大学）
- P1-5 分枝粥腫型梗塞患者において座位姿勢に着目し、食事・排泄への汎化を目指した症例**
幾島 芽唯（至誠堂綜合病院）
- P1-6 作業活動で離床への動機付けを図り、独居再獲得に至った症例**
矢萩 滯（北村山公立病院）
- P1-7 胸椎後縦靱帯骨化症を呈した症例 ～浴槽のまたぎ動作獲得を目指して～**
加藤 優依（医療法人財団明理会 山形ロイヤル病院）

ポスター2 高次脳機能障害・地域リハ

日時：2025年7月12日(土)14:00～15:00

会場：G会場（ホワイエ）

座長：原田 大河（社会医療法人明和会 中通リハビリテーション病院）

- P2-1 高次脳機能障害者の就労支援 ―企業および各施設との連携により復職と定着に至った1例―**
武田 宙樹（済生会 山形済生病院）
- P2-2 早期復職を目指す症例に対するOTとしての関わり**
畠中茉悠子（鶴岡協立リハビリテーション病院）
- P2-3 山形県酒田市における住民主体の通いの場継続支援の紹介 ～認知症出前講座を活用して～**
山崎 卓礼（介護老人保健施設シェ・モワ）
- P2-4 山形市「いきいき生活運動講座」による生活行為向上の効果
～生活につながる介護予防事業で自分らしい地域生活継続を～**
長谷部和恵（山形さくら町病院）
- P2-5 短期集中介護予防教室において対話を通して地域での活動を再開した事例
～介護予防モデル再構築事業の実践を通して～**
加藤 緩奈（山形県立保健医療大学）
- P2-6 通所介護利用者における集団レクリエーションと学習課題の相乗効果について**
大竹絵美子（湯上地域リハビリテーション）
- P2-7 投票支援における自動具の有用性 ―手製と3Dプリンタ製自動具の比較を通して―**
佐藤 祐樹（訪問看護ステーションあい）

ポスター3 身体障害・発達障害

日時：2025年7月13日(日)9:00～10:00

会場：G会場（ホワイエ）

座長：曾根 稔雅（福島県立医科大学）

P3-1 人工骨頭置換術後患者に対するThree goal modelを用いた目標指向型アプローチの効果

～事例報告～

猿田真理絵（医療法人清和会 奥州病院）

P3-2 上肢痙縮に対するA型ボツリヌス毒素投与後のアフターフォローの現状と課題

―上肢装具・スプリントに着目して―

千葉 聖矢（いわてリハビリテーションセンター）

P3-3 急性期の延髄外側梗塞患者に対する磁気刺激装置を用いた摂食嚥下リハビリテーションの一例

椎野 由美（竹田綜合病院）

P3-4 当院における脳血管障害等患者の自動車運転再開可否の実態調査

五十嵐陽子（メディカルコート八戸西病院）

P3-5 寝たきりから主体的な生活動作獲得を目指して ～ADOCによる評価と多職種介入～

小原 明季（秋田県立循環器・脳脊髄センター）

P3-6 身辺自立を目標とした利用児が、一人で靴下の着衣が可能となるまでの変化とOTの支援

齋藤 花奈（合同会社リハサポート アーチ天童）

P3-7 超低出生体重児に対するNICU入院中からの早期リハビリテーション介入と発達支援の有用性：ケースシリーズ

渋間 勇人（済生会 山形済生病院）

ポスター4 研究・教育他

日時：2025年7月13日(日)11:30～12:30

会場：G会場（ホワイエ）

座長：浮田 徳樹（東北福祉大学）

P4-1 当院における維持透析患者の転倒対策に向けたSPPBの有用性について

細谷 賢広（山形徳洲会病院）

P4-2 評価実習を通じた作業療法学学生の課題価値の変化とその影響要因

～SCATを用いた質的分析を通して～

熊谷 竜太（仙台青葉学院短期大学）

P4-3 認定作業療法士取得に向けた当院の取り組み

渋間 勇人（済生会 山形済生病院）

P4-4 高齢者スマートフォン講座の企画・運営を通じた学生の能力開発と意識変容

外川 佑（山形県立保健医療大学）

P4-5 認知関連行動アセスメントと排泄動作の関連性の検討

岩渕 麻衣（一般財団法人みちのく愛隣協会 東八幡平病院）

P4-6 3県士会（県協会）間アライアンスの試み ～IKOT協議会活動報告

藤原瀬津雄（一般社団法人岩手県作業療法士会）

P4-7 山形県士会における自動車運転支援に関する取り組み報告

～運転と地域移動支援推進委員会より～

安野 仁（一般社団法人山形県作業療法士会）

P4-8 終末期の乳がん患者との関わりを通して ～ご本人の思いに着目して～

池田 美咲（日本海総合病院）

社会福祉法人 敬寿会



敬寿会は、平成6年7月に山形で発足した社会福祉法人です。
現在では、特別養護老人ホームを中心に高齢者福祉・医療・障がい・保育事業を運営しています。平成14年に厚生労働大臣より全国法人の認可を受けて以来、山形・宮城・埼玉・東京・神奈川に合せて20拠点97事業所、職員数は1,000名を超える大規模な法人になりました。

OT・PT・ST合計70名在籍中！全国の社会福祉法人ではトップクラスです

スタッフ
募集中

敬寿会は、日本一職員の輝く施設を目指します。

✓ 理学療法士 ✓ 作業療法士 ✓ 言語聴覚士
見学等随時受付しておりますので、お気軽にお問い合わせください！

社会福祉法人敬寿会 本部事務局

☎023-664-2141

〒990-0033 山形県山形市諏訪町2-1-25

各種SNSも
ぜひご覧ください！



法人ホームページ



Instagram



第12回

2026年2月7日(土)8日(日)

in YAMAGATA 山形

日本小児診療多職種学会

その子の小さな手に 大きな未来を

～子どもたちと共に創る社会へ～



会頭

竹中 佐江子

(株式会社リニエ R 取締役)

副会頭

松田友美 / 加勢泰庸 / 赤塚郁奈

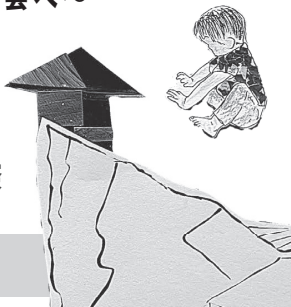
山形大学大学院医学系研究科
医学部看護学科 地域看護学講座 教授

(株)リニエ R 山形県統括責任者

リニエプラッツ山形 管理者



大会 HP



やまぎん県民ホール

〒990-0828山形県山形市双葉町1丁目2-38

Linie

あなたを想う、プロになる

Be Professional

ドイツ語で「線」を意味するLinie(リニエ)。
地域で生きる人にとっての
人生のライフラインとなるという想いを込め、
連綿と続く人の人生に寄り添う姿勢を表しました。

作業療法士を大募集!

リニエグループの 採用サイトはコチラ→

<https://recruitment.linie-group.jp>

リニエの東北事業所

青森県

リニエ訪問看護ステーション青森青葉

山形県

リニエプラッツかみのやま(児発・放デイ)

リニエプラッツ山形(児発・放デイ)

リニエ訪問看護ステーション山形 (2025.7月開設予定)

宮城県

リニエ訪問看護ステーション名取





あなたの思う“作業療法”を、 あなたの地域で活かしてみませんか。

健康経営は、働く人の健康を支えるだけでなく、地域全体の活力にもつながります。
私たちは、作業療法士の専門性を活かし、ITシステムを活用しながら、地域社会の特性に合わせた健康経営を全国の企業と共に進めています。

37

FC Partner

※2025年4月時点



70

Corporation

健康経営事業を弊社と共に構築している
フランチャイズ先は『全国37エリア』に。
また、健康経営サービスを提供した中小企業（島根県中心）
は『70社以上』！弊社のノウハウを仕組み化し、
フランチャイズ先に伴走しながらサポートします。

2025年4月に健康経営支援ITシステム
『Ciaeru』を公開！
職場の健康状態や見えにくい労働損失額まで、
簡単に「見える化」。現場のリアルな課題を、
お手元で把握できます。

健康経営支援事業 フランチャイズ個別説明会も開催中。今だけ、ITシステムお試し無料！
ITシステムのみ利用もできます。興味を持っていただいた方は、ぜひお早めにご連絡ください。
お問い合わせ：株式会社Canvas 福島（ふくしま）
Email: canvas.contact0319@gmail.com

詳細はこちら



ケアウィルは、対象者、医療・介護職の皆さんと福祉製品を共創しています。 carewill

GOOD DESIGN AWARD
2024年度受賞

川崎市公営型福祉製品等開発委託
川崎市 福祉100周年記念事業

GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

かわさき基準
福祉製品2023

OMOTENASHI SELECTION
2022年度 ANA賞



すべての車いす利用者の皆様へ
車いす利用者用晴雨兼用ウェア

療法師
監修

- 風でめくれない、蒸れない
上下分離式。空気が服の中に入らず、
風でめくれず、蒸れません。
- 着る、脱ぐ、収納がラクラク
ファスナーがなく、ボタンは2個だけ。
小さな動作で着脱、畳みが可能。
- 巻き込まれない
足にしっかりとフィットする膝かけと適度な
丈のジャケットは車輪に巻き込まれません。
- 膝かけの多様な固定方法
上肢の可動制限と、車いすの形状に
応じて6つの固定方法から選択。

累計ご利用者
340 名突破

東京
新刊



ご自宅や施設で、洗濯の自立支援に
自立する、丸ごと洗えるランドリーバッグ

療法師
監修

- 丸ごと洗える脱衣かご
上下分離式。空気が服の中に入らず、
風でめくれず、蒸れません。
- 洗濯ものが絡まない
独特のバッグ内の空間を維持し、
服の絡みや傷みを軽減。
- 洗濯の自立を支援
洗濯物の仕分けと移し替えが不要。
独力による洗濯を支援します。
- プライバシーを守り、紛失防止
中が透けないので持ち歩きも安心。
施設での衣類の紛失防止にも。

累計ご利用者
6400 名突破

dinos
販売中



麻痺、腱板断裂、骨折など上肢に疾患がある皆様へ
楽に着られるアームスリングウェア

療法師
監修

モニター病院・施設を募集中！

- 一人で着脱ができる
片手で簡単に着るデザイン。
ボタンや留具もなく短時間で着脱。
- 首を痛めず、疲れない
伸縮する生地全体で腕を支え、内部の
骨素材で腕の自重を向角へ分散。
- コーディネートしやすいデザイン
ネイビーとグレーの2色展開、外出着
として装いを楽しくいただけます。
- 肘をしっかり固定
肩甲骨の肘側のループと中央ボタンを
留めて肘を固定。腕がぐらつきません。

累計ご利用者
610 名突破

YAMAHA



医療・介護職、医療・介護系
法人経由のご購入なら..

全品 35%OFF

THANK YOU COUPON
いますぐ使える 15%OFF クーポンをプレゼント
以下のクーポンコードをご利用ください

ご利用サイト クーポンコード
carewill 39157
amazon TOT39157

病院・施設からのご紹介で
無料サンプルいつでもお試いただけます！

全国どこでも3日以内にお届け
お申し込みは30秒で完了



株式会社ケアウィル 本社：東京都豊島区駒込4-2-24
https://www.carewill.co.jp/

ケアウィル 検索

医療法人篠田好生会



篠田総合病院

山形市桜町2番68号

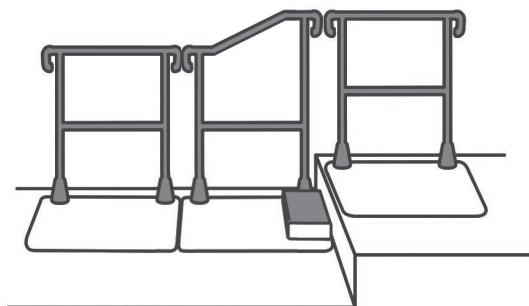
TEL023-623-1711 (代表)

<https://shinoda-hp.or.jp/>

心をつなぐ 安心をつなぐ

タマツの
つながる手すり

surita
ありてあ シリーズ



平型手すり

しっかり支える



水平手すり

押し上げ、支える



福祉用具総合商社

レンタル・販売・商品開発
メンテナンス・洗浄・住宅改修

ともに、そばに、ために。
株式会社タマツ
TAMATSU

〒997-0857 山形県鶴岡市美咲町32-7

TEL(0235)23-6333 FAX(0235)25-3889



一般社団法人 リハビリテーションスタッフサービス

理念
Philosophy

地域社会における
リハビリテーション
による自立支援
の具現化

地域共生社会
の実現

健康寿命の延伸
幸福度の増進

全国への拡散

行政・民間の業務委託
講師依頼
保健予防・介護予防
業務委託登録社員26名(OT8名)

OT急募！！

新しい働き方してみませんか？
ご自身の働き方に合わせ、シフトを組みます
PT/ST/Ns/薬剤師/管理栄養士/歯科衛生士など в籍

連絡先
一般社団法人リハビリテーションスタッフサービス
担当：松木信（作業療法士）
TEL：090-3643-0490
E-mail：matuki@aria.ocn.jp



作業療法士(OT)による発達支援を
中心とした療育を行っています

アーチ TEL023-679-5403

アーチ天童 TEL023-679-5442

アーチ鈴川 TEL023-666-5392



合同会社 リハサポート

山形市印役町1-2-38

TEL&FAX023-679-5403

随時、職員を募集中！



私達と一緒に子ども達の
発達支援をしてみませんか
研修制度や福利厚生が
充実しています

担当：アーチ鈴川

Tel：023-666-5392

小川、今田

協 賛 一 覧

第35回東北作業療学会の開催・運営にあたりまして、下記の皆様より格別のご支援を頂きました。
ここに謹んで御礼申し上げます。

第35回東北作業療学会

学会長 椿 野 幸 子

(山形市立病院済生館)

協 賛

山形市立病院済生館 脳卒中センター

一般社団法人リハビリテーションスタッフサービス

医療法人社団月山会 おやま整形外科クリニック

社会福祉法人敬寿会

株式会社高陽堂書店

株式会社タマツ

株式会社ライフケアサポート

機器展示 (50音順)

イワツキ株式会社

株式会社ケアウィル

酒井医療株式会社

株式会社新日本教育シューズ

株式会社タマツ

株式会社南部医理科

株式会社日本トリム

FrontAct株式会社

株式会社みらい みらい工房

株式会社ライフサポート

学 会 組 織

学 会 長

椿 野 幸 子

山形市立病院済生館

副 学 会 長

奥 山 典 子

山形さくら町病院

実行委員長

佐 藤 寿 晃

山形県立保健医療大学

事 務 局 長

西 堀 陽 輔

山形徳洲会病院

常任委員（財務）

高 畑 未 樹

山形県立保健医療大学

常任委員（演題）

柏 倉 昭 之

篠田総合病院

常任委員（会場）

大 内 一 紘

山形済生病院

常任委員（広報）

石 澤 正 夫

山形医療技術専門学校

第35回東北作業療法学会
プログラム集

発 行 日	2025年 6 月17日
発 行 者	第35回東北作業療法学会
学 会 長	椿野 幸子（山形市立病院済生館）
実行委員長	佐藤 寿晃（山形県立保健医療大学）



東北作業療法学会